

02 エミタス株式会社

所在地 三重県津市高茶屋小森町5
事業内容 介護事業
従業員数 80名

HPは
こちら



テーマ 情報共有の最適化による業務効率化とDX推進

DXチャレンジの きっかけ

アナログな業務が多く、DXの必要性は認識していたものの、どこから手をつけていいのかわからず、全社的な取り組みが難しい状況でした。そんな中、商工会からの案内をきっかけにこの支援事業を知り、外部の専門家の支援を受けられることが非常にありがたいと感じて参加を決めました。

具体的な課題

- 1 情報共有の手段が紙や口頭ベースで分散**
各事業所ごとに情報が分散しており、口頭や紙ベースでのやり取りが主流だったため、管理者の負担が大きく、業務効率が低下していました。
- 2 DX推進の方法が不明確で、全社的な取り組みが進まない**
DXの必要性を感じていたが、どこから手をつければよいかわかりませんでした。
- 3 デジタルツールの導入によるコスト対効果の見極めが難しい**
新しいツールを導入する際の費用対効果の測定が難しく、どこまでの投資が適切か判断することが困難でした。

伴走支援取組内容

クラウドサインの導入で契約業務の電子化

契約業務の流れが整理され、ペーパーレス化が進みました。



Googleフォームを活用した在庫管理の可視化

試験的にデジタルツールを用いて業務のスリム化を検討しました。

今後の
展望

Slackの試験導入による 情報共有の効率化

各事業所・管理者間での
運用を開始

・情報共有がスムーズに
・電話のやり取りが減少

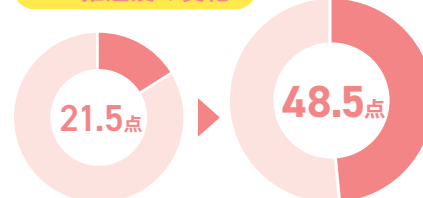
情報共有の効率化



得られる効果(未来予測)

- ✓ 社内全体の **情報共有が円滑化**
- ✓ DXツール導入による **業務可視化**
- ✓ デジタル活用の社内文化が定着

DX推進度の変化



企業担当者の声

経営の可視化を進めることが次のステップです。各事業所の状況をリアルタイムで把握し、経営判断に活かせる仕組みを作りたいと考えています。また、DXの取り組みをさらに進め、業務効率化だけでなく、従業員がより働きやすい環境を整えていきます。

今後DXにチャレンジする企業へのメッセージ

DXは決して難しいものではなく、一歩踏み出すことが大切です。最初は抵抗があるかもしれませんが、小さな改善を積み重ねることで、確実に業務は効率化されます。特に管理者の業務負担が軽減されることで、現場の業務により集中できる環境が整います。DXに挑戦することで、企業全体の成長につながるので、ぜひ積極的に取り組んでほしいです。